

〈資料〉

テスト1 3年 番 氏名
つぎの — 線の漢字に よみがなをつけなさい。

1. ものごとを 教える。
2. たのしく 歌をうたう。
3. 小鳥の鳴き声。
4. がつきを 売るみせ。
5. 交通はくぶつかんにいく。
6. 図書室で本をよむ。
7. 話されたことの意味を考える。
8. 水を飲む。
9. 記号をつかってあらわす。
10. 右へ曲がる。
11. ほけん室で薬をつけてもらう。
12. 文章をよくよむ。
13. 本で調べる。
14. 川の深さをはかる。
15. 反対のことをのべる。
16. ありの研究をする。
17. 学校に通うみち。
18. もんだいの整理をする。
19. かみの毛を短くきる
20. 港のある町。
- 21・22. 横だん歩道をわたる。
23. 等しい長さにわける。
24. 駅の前のひろばにあつまる。
25. その他いろいろあつめる。

テスト2

つぎの文章をよんで、との問いに、こたえなさい。

- ① 植物は、動物のように場所をかえて動いたりしませんが、やはり、少しずつ動いています。小さなめが、だんだんのびて大きくなっていくのも、植物の動きです。こうした動きのほかに、植物の中には、光やおんどがかわったり、物に

ふれたりすると、動くのがはっきりわかるものがあります。

- ② クローバーの花や葉をかんさつしてみましょう。昼間、開いていたクローバーの花は、夕方になると、しずかに花をとじてしまいます。また、三まいの葉も、ぴたりとたたんでしまいます。昼間でも、どんよりとくもっている時には、花や葉をとじてしまうことがあります。
- ③ まつよいぐさの花は、昼間はとじていますが、夕方になると開きます。そして、夜には、ががとんできて花ふんを運んでいきます。やがて、次の朝になると、花はしぼんでしまいます。
- ④ ねむのきは、葉がたくさんならんで、はねのような形をしています。夜になると、この小さな葉の一つ一つを、しずかにたたんで、だりりとたたんで、だりりとたれ下がります。そのようですが、まるでねむっているように見えるので、ねむのきという名まえがついたのです。
- ⑤ ねむのきのなかまのおじぎそうは、くらくなつた時も葉をたたみますが、わたしたちがちよっとさわっただけでも、びっくりしたように、葉を合わせてしまいます。そして葉のつけ根の所から、おじぎをするようにたれ下がります。しばらくたつと、また、葉をもちあげて開きます。
- (1) ①のだんらくの 三つの文のなかで、中心になっている大事なことを(語句)書いてください。

()

- (2) この文章は、どんな植物について説明していますか。

()

- (3) ④だんらくで大事な文はどれですか。一つかいてください。

()